**電子ジャーナル「エネルギー・資源学会論文誌」執筆要項**

Manual for “Journal of Japan Society of Energy and Resources”

エネルギー太郎\*・資源花子\*\*

 Taro Energy Hanako Shigen

(原稿受付日20\*\*年\*\*月\*\*日，受理日20\*\*年\*\*月\*\*日)

*Abstract*

The length of the abstract should be 150-200 words typed in 9 point of Times New Roman, and the linefeed width is 12 points.

Key words *:* Term, Term2, Term3, Term4,…(Up to five keywords)

**１．まえがき**

「エネルギー・資源学会論文誌」は，(一社)エネルギー・資源学会が編集・発行する学術論文誌である．投稿された研究論文および技術論文を，編集実行委員会で査読・審議し，掲載可となったものを会誌「エネルギー・資源」の発行タイミング（奇数月10日）に合わせて順次掲載する．なお，2008年1月分以降，会誌には会誌掲載用アブストラクト（1頁）のみが掲載され，フルペーパーはJ-STAGE（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する電子ジャーナルの共通プラットフォーム）に掲載される．

**２．執筆上の留意点**

Corresponding author; Hanako Shigen, E -mail: shigen@jser.gr.jp

\*環境大学大学院工学研究科エネルギー工学専攻

〒550-0003大阪市西区京町堀1-9-10 (リーガルスクエア京町堀)

\*\*靭資源計画株式会社研究部

〒550-0004大阪市西区靭本町5

(1) 国内外の論文誌に未発表の内容を投稿する（本会の講演論文集等で既発表の内容の投稿は差し支えない）．

(2) 原稿は多くの人々に読まれるので，理解されやすいように書く．

(3) 読者が内容の大すじを見失うことのないように簡潔に記述する．

(4) 読者が結論とその利用法を明確に把握できるように書く．

(5) 他の文献等から引用を行う場合には，著作権に抵触することのないように十分留意するとともに，必ずその出典を明確にする．

**３．原稿の種別と基準頁数**

原稿の種別，基準頁数を**表1**に示す．

**表1**　原稿の種別と基準頁数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種　別 | 内　　容 | 基準頁数 |  |
| 研究論文 | オリジナルな研究論文で本会の会誌に掲載するのが適当とみられるもの | 5-10 |  |
| 技術論文 | オリジナルな論文で主としてエネルギー・資源・環境に関わる実験や調査の分析結果等を報告するもの | 5-10 |  |

　原稿の内容は，本会の会誌に掲載するのが適当とみられるエネルギー・資源・環境等に関する分野，もしくは，それらを横断する学際的な分野に関するオリジナルな研究論文および技術論文で，和文または英文で書かれたものとする．なお，大学・公的研究機関・企業などの発行する紀要・所報・技報などの出版物，および国内外の講演会・シンポジウム・ワークショップ・研究会・講習会などの講演論文集・プロシーディングスなどに掲載された論文で，下記①②のいずれかの条件に該当するものは，本会の会誌に投稿してはならない．

①組織だった機関による校閲または査読を経て一般に公表(配布または販売)されている刊行物に投稿されているもの

②本会以外の団体に著作権が委譲されているもの

　基準頁数は研究論文，技術論文ともに5-10頁とするが，必要に応じ超過可能とする．

第\*\*回○○○○コンファレンスの内容をもとに作成されたもの

(この欄は研究発表等を行っていない場合は不要です)

**４．原稿の作成と投稿方法**

原稿は，本「執筆要項」および本会「投稿規則」にしたがってMicrosoft Word®で作成するものとする．これらに準拠していない原稿は受付しないことがある．投稿は，内容の固定化のため，PDFファイルに変換して提出する．

　原稿は，電子メールに添付してエネルギー・資源学会　　事務局

toko@jser.gr.jp

まで提出するか，CD-ROMなどで事務局まで郵送する．

**５．原稿の書きかた**

**5.1 文章**

(1) 原稿は，テンプレートにしたがって，横26文字，縦46行の2段組とする．章番号を除く数字およびローマ字，括弧は原則として半角とする．見出し前後のスペースの取り方もテンプレートに従う．

項目ごとのポイント数，フォントについては**表2**，WindowsとMacintoshのフォントの対応については**表3**を参照．

　なお，表中の文字のポイント数は特に指定しない．

(2) 簡潔平明な理解しやすいひらがなまじりの口語体とする．項目などの分類は原則として次の例による．

章　　**１．２．３．４．**・・・**（例外的に全角数字）**

節　　**1.1**　**1.2**　**1.3　1.4**・・・

項　　(1)　(2)　(3)　(4)・・・

**5.2 用字，用語**

　文章は，常用漢字と現代仮名遣いを用いる．やむをえず常用漢字以外の漢字を用いる場合は，その後ろに括弧付きで読み方を表記する．また，数字はアラビア数字（数量を表すとき）を用いる．ローマ字，ギリシャ文字，イタリック体文字はその区別を明確にする．

本文，図・表とも句読点は，「，」(カンマ)，「．」（ピリオド）に統一する．

**5.3 数式**

　数式は重要なものだけを示す．詳細な説明が必要な時には付録に示す．例えば，

$a×x+b=c$ 　　　　　　　　　 (1)

のように適切に見栄えよく記述する（上記の例は，Microsoft Word®内に準備されている数式ツールを用いて作成している） ．文章の中に数式が入る時は，誤解のないよう注意して1行で書く．

**5.4 単位**

　単位は原則としてSI単位とする．

**5.5 図・表**

(1) 図・表の数はできるだけ少なくし，図と表が同一内容の時には，どちらか一方にする．

**表2**　各項目のポイント数とフォント

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | ポイント数 | フォント |
| 表題 (和文) | 18 | **MS明朝（太字）** |
| 表題 (英文) | 14 | Times New Roman |
| 著者名 (和文) | 12 | MS明朝 |
| 著者名 (英文) | 9 | Times New Roman |
| 脚注/著者連絡先/原稿受付日･受理日 | 8 | MS明朝 |
| 英文アブストラクト | 9 | Times New Roman |
| 本文見出し(章・節/図表番号)見出し(項)・英数字 | 999 | MS明朝**MSゴシック(太字)**Times New Roman |
| 参考文献 | 9 | MS明朝 |

**表3**WindowsとMacintoshのフォントの対応

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フォント | Windows | Macintosh |
| 明朝体 | MS明朝 | 細明朝体またはMS明朝 |
| ゴシック体 | MSゴシック | 中ゴシック体またはMSゴシック |
| Times | Times New Roman | Times |

(2) 図は原則としてカラーとし，学会誌「エネルギー・資源」の掲載用アブストラクトについては，モノクロ印刷でも識別できるように注意して作成する（カラーでの作成が困難な場合のみモノクロで作成する）．また，他のソフトで作成した図表をテンプレートのWordファイルに貼り付ける場合，品質が劣化しないよう注意する．

(3) 図・表中の文字，記号については判別できるような大きさで記入する．なお，不明確な図・表や大きな図・表については編集実行委員会が書き直しを要求することもある．

会誌掲載用アブストラクトに載せる図は

モノクロでも識別できるように作成

**図1**　東京の雨温図（写真も図に含む）

(4) 図（写真も図に含む）・表の説明は次のように表す．

**図1**○○○○○

**表1**　□□□□□

ただし，図の場合はその下側，表の場合はその上側に置く．

**5.6 英文アブストラクト**

　150～200 words程度の英文アブストラクトを添付する．

また，最後に英文キーワードを最大5語まで付ける．

**5.7 所属欄**

1ページ目左下の所属欄はEメールアドレス（責任著者のみ），所属機関名，部署名，住所を記載し，原則として役職名は入れない．所属がない場合には，元所属を表記できる．なお，名誉教授は，○○大学名誉教授と表記できる．

**６．文献の引用**

(1) 参考文献は通し番号を付して本文の末尾にまとめて記載する．

(2) 引用箇所の右肩には小括弧を付した文献の番号を記入する．（例：文献1)を参照されたい）

(3) インターネットから入手できる文献はそのURLを記入する．（例：文献5)を参照されたい）

(4) 謝辞を加える場合は，参考文献の前に挿入する．

【記 載 例】

(雑　誌) 著者名 (連名者)；論文の題目，雑誌名，巻数－号数 (発行年・西暦)，頁．

(例－1) 東京太郎，大阪次郎；原子力発電の将来展望，エネルギー・資源，42-6 (2021), pp.213-217.

(例－2) Patrick Gilmour, Dusty McKinnon and Nicholas Maudslay; Prospects for the joint implementation of sulfur emission reduction in Europe, Energy Policy, 133(2019), pp.355-371．

(単行本) 著 (編) 者名；単行本名，巻 (1巻のみの場合は不要)，(発行年・西暦)，頁，発行所．

(例－1) 田中次郎；エネルギー・資源ハンドブック (エネルギー・資源学会編)，(1996)，p.699，オーム社.

(例－2) Stepbens Auckland; Renewable Energy, (2020), p.151, Island Press.

(報告書類) 著者名；論文の題目，報告書類名，号数 (発行年・西暦)，頁．

(例－1) 鈴木三郎，加藤四郎；紙製飲料容器の環境プロファイル分析，第36回エネルギーシステム・経済コンファレンス講演論文集，(2020)，p.201．

(例－2) Frazer Foster and Charley Priestley; Energy impact of consumption decisions, Proceedings of the IEEE, 109-11 (2021), pp.564-576.

**謝辞**

謝辞に個人名を書く場合，著者はなるべく掲載までに

その方に直接連絡して了解を得てください．

**参考文献**

1) 浅野浩志；スマートエネルギーシステム―再生可能エネルギー主力化を支える次世代エネルギーマネジメント技術―，(2020.9), pp.73-89, デジタルパブリッシングサービス．

2) 再生可能エネルギー利用に関するヨーロッパ調査団； 再生可能エネルギー利用に関する第3回ヨーロッパ調査，エネルギー・資源，42-3 (2021), pp.63-66．

3) H. Okabe; European Investigation Attendance Note about the Renewable Energy Use, Energy and Resources, 41-5(2020), pp.65-69．

4) Williams E. Chen; Renewable Energy Technology and Path Creation: A Multi-scalar Approach to Energy Transition in the UK, European Planning Studies, 29-5(2021), pp.791-816．

5) Japan Society of Energy and Resources ;
https://www.jser.gr.jp/society/message/
(アクセス日2021.12.10)

(注)

i) 著者数が多い場合は，本文中においては‘ほか何名’，‘et al.’を付して筆頭者名のみとしてよい．ただし，参考文献欄においては，原則として全著者の名前を記載する．

ii) 雑誌名の略記は，各分野において一般的なものを用いる．

iii) 頁数は，雑誌・報告書類の場合は始まり頁と終わり頁を明示する．単行本の場合は引用した頁のみを明示する．

iv) 一般的でない文献については詳しく記入する．

**７．原稿の採否**

　投稿原稿については，全て査読委員会にて事前に審査を行い，編集実行委員会が採否を決定する．

**８．掲載決定通知後**

　著者は，査読委員会から掲載決定の通知を受けたのち，指示にしたがい，他の論文とのフォーマットの統一性も考慮しながら最終ファイルを作成し，提出する（最終ファイルの状況によっては学会で作業を行うこととなり，付加的な投稿料が必要となる場合もある）．また，会誌掲載用アブストラクトおよびJ-STAGE向け引用文献対応表（各テンプレートは事務局から送付される) を作成し，提出する．

(最後は左右の段を揃える)

**付録**

　付録がある場合は，参考文献の後に付け加える．原則として改ページして始めるが，改ページにより総ページ数が増えてしまう場合は，改ページしなくてもよい．他の書式は，本文と同様とする．

(令和5年6月20日　編集実行委員会改定)

**電子ジャーナル「エネルギー・資源学会論文誌」**

**テンプレート**

“Journal of Japan Society of Energy and Resources”・・・

エネルギー太郎\*・資源花子\*\*

 Taro Energy Hanako Shigen

（原稿受付日20\*\*年\*\*月\*\*日，受理日20\*\*年\*\*月\*\*日）

*Abstract*

The length of the abstract should be 150-200 words typed in 9 point of Times New Roman, and the linefeed width is 12 points.

Key words : Term, Term2, Term3, Term4,…(Up to five keywords)

**１．**

　２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６

**(章の切れ目には改行スペース挿入)**

**２．**

　２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６

Corresponding author; Hanako Shigen, E-mail: shigen@jser.gr.jp

\*環境大学大学院工学研究科エネルギー工学専攻

〒550-0003大阪市西区京町堀1-9-10 (リーガルスクエア京町堀)

\*\*靭資源計画株式会社研究部

〒550-0004大阪市西区靭本町5

**３．**

　２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６

**４．**

第\*\*回○○○○コンファレンスの内容をもとに作成されたもの

　２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６